

一般社団法人 山口県建設業協会  
会長 井森浩視

令和の時代となり初の輝かい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

さて、昨年も全国各地で台風災害等が発生し、尊い人命や財産が失われた1年でしたが、私たち地域建設業は「社会資本整備の担い手」、「地域の安全・安心の守り手」として、その取組みを着実に推進させなければならぬと再認識させられた年でもありました。

今、地域建設業を取り巻く環境は公共工事設計労務単価の7年連続引き上げなど改善の兆しはあるものの、なお厳しい状況にありますし、人口減少社会の中で、建設業界においても「担い手の確保・育成」という課題に直面しています。今後、地域建設業が「働き方改革」に向き合う中で生産性を向上し、担い手を確保して、その社会的使命を果たしていくには、何よりも健全な経営基盤の確保が必要です。

## 佐波川総合水防演習に本協会も参加しました！

2  
special



佐波川総合水防演習

【日時】令和元年5月25日  
【開催場所】防府市古祖原地先(佐波川左岸河川敷)  
【主催】国土交通省、山口県、防府市、周南市、山口市  
【協賛】全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、  
(一社)河川情報センター、(一社)中国建設弘済会  
【後援】(一社)建設広報協議会

### 水害リスクに備える 大規模演習

国土交通省では、水防技術の向上・継承を努めるとともに、関係機関や地域住民が水害リスクに関する知識と心構えを共有し、水害被害を軽減することを目的に、全国で水防演習を実施しています。令和元年5月25日、佐波川左岸河川敷において、山口県では14年ぶりの実施となる水防演習が行われ、石井国土交通大臣、村岡知事、防府・山口・周南の3市長をはじめ、行政機関、消防、警察、自衛隊、関係団体、地域住民など約1,200人が参加。本協会からも井森会長をはじめ、塩田防府支部長や関係会員が参加しました。

今回の演習では、佐波川で氾濫危険水位を超えて、越水(堤防決壊)

による外水氾濫が発生したとの想定で行われ、メディアと連携した情報発信や避難が必要な地域への情報伝達、ドローンを活用した被災状況調査など迅速な水防活動や住民避難を促す訓練のほか、TEC-FORCEによる緊急排水活動、中州に取り残された人々ヘリコプターから釣り上げて救出する訓練も行われました。

本協会の役割は、堤防斜面の崩れ対策工として大型土嚢を積み上げていくことで、防府・山口支部会員が中心となって、運ばれてきた大型土嚢袋を巨大クレーンで次々と設置していました。

演習では、平成30年7月の西日本豪雨の教訓を踏まえ、参加者が一体となり、様々な状況に対応ができるよう迅速かつ連携して真摯に訓練を行いました。

## 大島大橋の損傷に係る感謝状贈呈式



村岡県知事(中央)から感謝状を受け取った井森支部長(右)と迫田支部長(左)

### 柳井支部と大島支部が地域の復旧に貢献

#### 建設ICTビジネスメッセ

【日時】令和元年11月7日～9日  
【開催場所】山口南総合センター  
(山口市名田島)  
【主催】山口県  
【協賛】(一社)山口県建設業協会、  
(一社)山口県測量設計業協会



## 最先端の技術や製品が一同に集結！

令和元年11月7日～9日の3日間、山口市名田島の山口南総合センターにおいて「建設ICTビジネスメッセ」が開催され、本協会も出展しました。

「建設ICTビジネスメッセ」は、近年急速に広がっている建設現場でのデジタル化を受けて、県内の建設産業においても、建設現場の生産性向上させるICTの導入を促進するため、最新技術や活用のノウハウを紹介するイベントとして、今回初めて開催されたものです。初日である7日のオープニングセレモニーでは、メインホールに300人以上の方が集まり、その内、本協会員では、井森会長をはじめ、約180人が参加しました。

当日は3次元測量機器、VR、建設機械、ソフトウェアなど、最先端の技術や製品を持つ38社が一同に集結。会場アリーナ内でさまざまな展示・実演が行われたほか、グラウンドではICT建設機械・ドローン測量等の迫力あるデモンストレーションや試乗体験も行われました。また、ホールではICTトップランナーの方々の講演やパネルディスカッションが開かれ、これまでにない貴重な機会に県内外から多くの来場者が訪れました。本協会では9日にキッズコーナーを設置。重機ラジコンを使ったお菓子くじゲームなどを実施しました。ブースには家族連れが訪れ、子供だけでなく、大人もラジコンの操縦に挑戦。「なかなか難しい」「お父さん頑張れ!」「もうちょっと前!」と盛り上がる姿が見られました。来場者には本協会作成の災害復旧やボランティアなどの社会貢献活動をPRしたチラシ等の配布も行い、建設業を知つていただく良い機会となりました。

本協会では今後とも地域社会に貢献するとともに、イベント等を通じて、たくさんの方々に建設業の役割や魅力を発信していきます。

特集  
未来へ繋がる建設業

## 新しい時代の幕開け 令和元年の協会活動

「平成」から「令和」へ——新しい時代が幕明けしました。

少子高齢化やデジタル化、自然災害の多発等、社会と環境に大きな変化が生じている昨今、建設業も新たな時代に対応し、未来へ向けて歩み始めています。

1  
special

## 「建設ICTビジネスメッセ」に本協会も出展しました！